



沖縄総合事務局 広報誌／第375号



対談

## 沖縄の歴史、文化から見るこれからの沖縄

沖縄総合事務局長 能登 靖 琉球大学名誉教授 高良 倉吉

特集

## 平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル 暫定供用

群星  
【むりぶし】

1月2月号

隔月発行

January  
February



1月2月号

2018 広報誌／第375号 編集・発行／内閣府沖縄総合事務局総務部総務課  
〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち2丁目1番1号 TEL.098-866-0031(代表)

海洋博公園  
OCEAN EXPO PARK

沖縄国際洋蘭博覧会2017大賞株  
(内閣総理大臣賞)  
*Rhy. gigantea 'White'*  
徳里 衛氏 (沖縄県)



OKINAWA INTERNATIONAL ORCHID SHOW 2018  
**沖縄国際洋蘭博覧会**

2018年2月3日[土] - 2月12日[祝]

海洋博公園 熱帯ドリームセンター | 午前8時30分～午後5時30分（入館締切は午後5時）

[お問い合わせ] 海洋博公園管理センター 植物管理チーム  
TEL: 0980-48-2741 (代) FAX: 0980-48-3785

～美ら島の未来を拓く～  
**沖縄総合事務局**

<http://www.ogb.go.jp/>  
広報誌【群星】に対する「皆様の声」をお待ちしています。

2018

1月

January

2月

February



沖縄総合事務局長

**能登 靖**

琉球大学名誉教授

**高良 倉吉**

沖縄総合事務局では、対談企画として「沖縄の歴史、文化から見るこれから」の沖縄をテーマに、琉球大学名誉教授の高良倉吉先生と能登靖沖縄総合事務局長との対談を行いました。高良先生から大交易時代の琉球などについて話を伺いこれからの沖縄についてメッセージをいただきました。

**能登** 沖縄が日本に復帰して45年を迎えました。政府は5次にわたり特別措置法を制定し、沖縄振興に取り組んできました。私自身も5年前に行われた法律改正に関わり感慨深いものがあります。当時、アジアとの交流、大交易時代をもう一度現代に甦らそうという議論があり、法律の中に国際物流特区の制度が盛り込まれました。あと5年で沖縄振興も半世紀を迎えますが、過去を振り返りながら、今後10年、20年先の沖縄についてお話しをお聞かせいただければと思います。

**高良** 私自身、小さな島で生まれ育つたものですから、復帰前の離島の生活の大変さというのは今でも記憶に残っています。この45年で随分変わりました。かつてダムの整備が遅れていた時代には、断水による給水制限が頻繁にあり、不便を余儀な

### つくるもの、残すもの

くされていました。今は観光が順調ですが、水源確保や道路などの社会インフラ整備が進んだことも大きな要因だと思います。

**能登** 沖縄は豊かな自然や歴史を持つです。いかに環境に負荷をかけず開拓していかに利便性の向上や生活基盤の整備は必要です。何に手をつけて、何を守るのか分けて整理した上で、いかに環境に負荷をかけず開拓していくか知恵を出すことが大事です。環境保全と経済活動の両立は不可能ではなく、そのための知恵を発していくかが重要です。何に手をつける側としては、古くて良いものを大切に残しながらということを常々感じています。

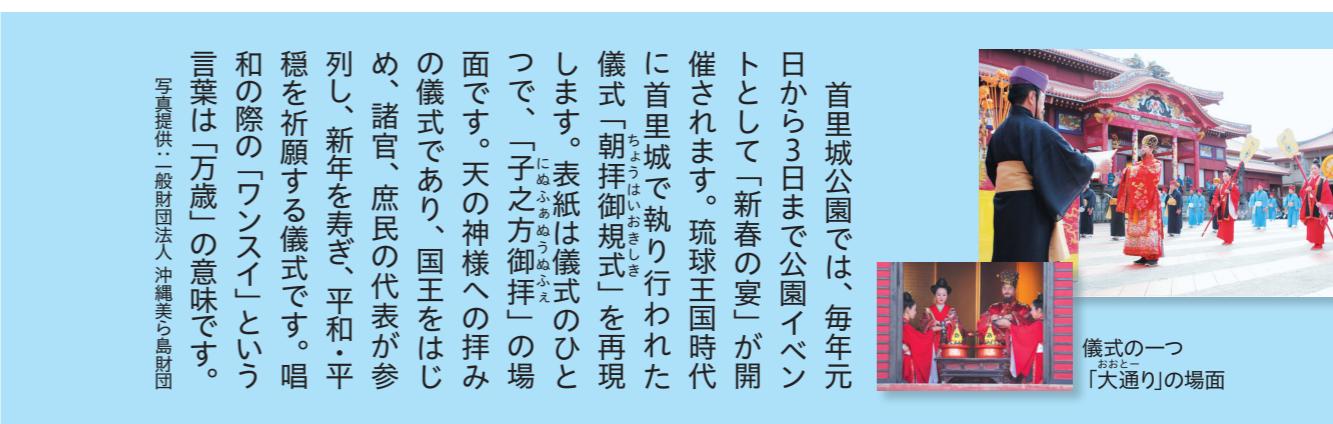
**高良** 热帯の自然環境は、デリケートです。一切手を付けないということができればよいのですが、県土面積には限りがあり、地域で生活する人にとっては、利便性の向上や生活基盤の整備は必要です。何に手をつけて、何を守るのか分けて整理した上で、いかに環境に負荷をかけず開拓していかに利便性の向上や生活基盤の整備は必要です。何に手をつける側としては、古くて良いものを大切に残しながらということを常々感じています。

対談

# 沖縄の歴史、文化から見る これからの沖縄



- 1 対 談 沖縄の歴史、文化から見るこれからの沖縄  
沖縄総合事務局長 能登靖 × 琉球大学名誉教授 高良倉吉
- 4 特 集 平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル暫定供用
- 6 仕事の窓1 商工会との懇談会～久米島・読谷・恩納・八重瀬・伊良部～
- 7 仕事の窓2 入札談合の防止に向けて～研修会を開催しました～
- 9 仕事の窓3 金融庁業務説明会の開催
- 8 仕事の窓4 第55回 法人企業景気予測調査(平成29年10～12月期調査)
- 10 仕事の窓5 金融行政に係る関係機関との連携
- 11 仕事の窓6 第6回 ご当地！絶品うまいもん甲子園決勝大会～向陽高校が特別賞を受賞 県内限定商品化の予定～
- 12 仕事の窓7 食肉情報出張講座～国産食肉の美味しさと安全・安心の確保について考える～
- 13 仕事の窓8 GAPの普及推進に向けた講演会～GAPの価値を共有するフードチェーン連携パートナー会を開催～
- 14 仕事の窓9 沖縄における観光農園推進検討会
- 15 仕事の窓10 農林水産祭むらづくり部門 農林水産大臣賞伝達式～博愛の里上野(宮古島市)～
- 16 仕事の窓11 「第4回ディスカバー農山漁村(むら)の宝」で糸満市観光まちづくり協議会が優良事例として選定
- 17 仕事の窓12 「沖縄大交易会2017」併催事業を実施
- 18 仕事の窓13 『2017日米亞医療機器イノベーションフォーラム沖縄』を開催しました
- 19 仕事の窓14 新たな自動車検査員誕生～11月6～9日開催の教習結果～
- 20 仕事の窓15 公共交通事故被害者等支援フォーラム
- 21 仕事の窓16 バリアフリー教室in宮古島市
- 22 仕事の窓17 自動車保有関係手続のワンストップサービス(OSS)運用開始～利用者利便の向上を目指して～
- 23 仕事の窓18 次世代を担う高校生が話し合う！～「世界津波の日」2017高校生島サミットin沖縄～
- 24 仕事の窓19 あかま副大臣の沖縄訪問／山下政務官の沖縄訪問
- 25 仕事の窓20 訪日外国人旅行者向けマナー動画の作成
- 26 お知らせ 平成29年度 国有財産一般競争入札(期間入札)のお知らせ



本誌のタイトルについて

群星（むりぶし）とは、沖縄の方言で「昴星（すばるぼし）」のことです。「ぶりぶし」、「むるぶし」とも呼ばれます。

新春を祝ぐ、

琉球王国の榮華

表紙写真

能登 沖縄の観光は非常に順調で来訪者はハワイを抜いたという数字もあります。沖縄の魅力としてよくあげられるのは、美しい海や自然などが、リゾートとしてのイメージですが、

### 沖縄のもつ 多面的な魅力を人々

の観光は非常に順調で来訪者はハワイを抜いたという数字もあります。沖縄の魅力としてよくあげられるのは、美しい海や自然などが、リゾートとしてのイメージですが、

# 沖縄の歴史、文化から見るこれからの沖縄

沖縄総合事務局長

能登 靖

琉球大学名誉教授

高良 倉吉



**能登** 琉球王国時代には、中国から多くの技術者、知識人が来訪し、久米村に定着し、貿易実務や国家経営などを担つたと聞いています。

**高良** 当時中国は世界で最も繁栄し力のある国家の一つでした。中国の福建から渡ってきた人が多いのですが、福建は中国の中でも、高い造船技術や航海術を有する地域でした。福建を中心とする人たちがやがて琉球に定着するようになります。当時の琉球は中国から大学の留学枠も認められていきました。久米村の子孫たちが、中国に留学し技術や知識を習得して沖縄に戻り、貿易実務に関与したり、琉球王国の中枢で国家経営にも関与するようになります。日本にも関与するようになります。日本

代を支えたのは、造船技術、操船技術、気象や天体の知識など最先端の技術だったと考えます。女性たちを中心とした祈りや精神世界が非常に豊かであつたと同時に、大海原を越えて移動する技術を豊富に有していました。技術、知識、精神、人材などすべて備えていたからこそ、小さな国が世界を相手に交易することが可能になつたのだと思います。

**琉球の時代に見る  
これから沖縄**

**能登** 琉球の時代は外に開かれ、他の地域や国から沢山の人を受け入れ、発展してきたということですね。これから沖縄の発展を図る上でとても重要な点だと思います。高良先生本日は大変お忙しい中、たくさん示唆にとんだお話をお聞かせいただきました。どうもありがとうございました。



能登 靖(のと・やすし)

富山県出身。沖縄総合事務局長。昭和63年京大卒、通商産業省入省。平成22年内閣府参事官(沖縄政策・産業振興担当)として沖縄振興特別措置法改正に携わる。平成24年沖縄総合事務局経済産業部長、平成26年NITEバイオテクノロジーセンター所長、平成28年より現職

高良倉吉(たから・くらよし)

伊是名村出身。琉球大学名誉教授。専門は琉球王国の内部構造、アジアとの交流史を研究。昭和46年愛知教育大卒、平成5年「琉球王国史の基礎的研究」で文学博士(九州大学)。沖縄史料編集所、沖縄県立博物館、浦添市立図書館長を経て、平成6年琉球大学教授、平成25年、26年沖縄県副知事。首里城復元委員、NHK大河ドラマ「琉球の風」監修者



歴史文化なども非常に個性的、魅力的なものがあるように感じます。

**高良** 観光客の増加は喜ばしい限りですが、滞在日数が少なく、沖縄の多面的な魅力にまだアクセスできていないと感じます。沖縄には、琉球時代から培われてきた文化や芸能、伝行事が各地域で受け継がれ、今でも暮らしの中に息づいています。

広大な海域に個性豊かな島々が点在し、沖縄本島とは違う島独自の方言や行事も残っています。島々で語り継がれる歌や踊り、伝行事や祈り。沖縄自身が非常に厚みのある、奥行きのある社会です。沖縄に来られる多くの方々にこうした魅力をもつと知つてもらいたい、体感してもらいたいと思います。

## 島々で捧げられる 女性たちの祈り

**能登** 伝行事や祈りの話がでました、沖縄には人々の祈りの場所であります拝所がとても多く驚きます。何が理由があるのでしょうか。

**高良** 人々が暮らす集落のことを方言ではシマと言ったのですが、それぞのシマでは複数の聖域があり、そこで女性たちが祈りを捧げていました。この場所が御嶽です。水不足

や台風など沖縄は自然環境の厳しい土地です。神に祈りをささげ、米をつくり、魚をとる。収穫や漁が無事終わると神へ感謝する。集落の数だけ年中行事があり、それに対応する各地域で行われていた行事を総括したもののが行われ、斎場御嶽は聖なる場所がある。首里城ではこれを場所の頂上に位置するものでした。城(グスク)というとどうしても政治や軍事拠点のイメージですが、沖縄では聖域でもあり、首里城には女性たちが祈りを捧げる極めて重要な場所がありました。

## 一 海洋国家を支えたもの

**高良** 沖縄には神々に捧げた歌が多く残っています。「おもろさうし」という古い歌集がありますが、圧倒的に多いのが航海の無事を祈る歌です。海洋文化を支える精神世界を見事に表現しています。

**能登** 進貢船は中国から導入したジャング型の船で、当時世界で最も優れた技術で建造されたものでした。それに匹敵するのはアラビア海で使われていたダウ船です。大交易時間を行つたと聞きます。

**高良** 進貢船は中国から導入したジャング型の船で、当時世界で最も優れた技術で建造されたものでした。そのような人材を活用して、日本本土との外交や貿易を行つたのです。

**能登** 今の話を聞いていると、これから沖縄の可能性が見えてくるよう気がします。

**高良** 中国や日本本土から移り住んだ人たちは、やがて琉球の社会に溶け込み、この地域の発展にどういうふうに力を尽くすかと使命感を持つようになります。僕はいつも言うのですが、ウチナーンチュという言葉は、なにも血のつながりだけではない。この地域に住み、この地域を面白くする、この地域に参画し、この地域の発展に寄与する人すべてをウチナーンチュというのだと考えます。大交易時代、アジアに羽ばたいた時代に琉球がそれをやつたのですから。



事業概要 ◆◆◆

平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル改良事業

- 整備施設: RORO船・クルーズ船対応  
水深:-7.5~ -10m、延長:440m(耐震220m、暫定供用295m)
  - 整備箇所: 平良港漲水地区
  - 事業期間: 平成24年度~平成36年度  
(平成29年12月16日暫定供用)
  - 港湾整備事業費: 168億円



整備内容

- 水域の狭隘化を解消し、季節風の影響を受けない形状の岸壁を整備。
  - 大型コンテナの荷役作業に必要とされる面積の埠頭用地を整備するとともに、老朽化した施設を改良。
  - 大規模地震時の緊急物資輸送に対応するため、耐震強化岸壁を整備。
  - クルーズ需要及びクルーズ船の大型化に対応するため、岸壁を延伸し、バース延長及び必要水深を確保。

## ◆◆◆ 事業の効果 ◆◆◆

- 岸壁の整備によって海難が減少するとともに定期航路の安定化に寄与します。
  - 岸壁・埠頭用地の拡張などにより荷役が効率化し、荷役コストが削減できます。
  - 岸壁の耐震化により、震災時の施設被害が回避されるとともに、緊急物資の輸送が可能となります。
  - 複合一貫輸送により荷役コストが削減されます。
  - 岸壁の整備によって市街地近くで外航クルーズ船の対応が可能になり、国際観光収益や営業収益の増加が期待されるとともに、市民との交流機会が増加します。

おわりに

本事業や、官民連携によるクルーズ拠点の整備などの社会資本整備だけでなく、タクシー・バスなどの二次交通の確保やふ頭における旅客の安全対策、物販店の充実等による旅客利便性の向上など、増加するクルーズ客の対応のためにはソフト面の整備も必要不可欠です。

今後も他部局や自治体などの関係各所と緊密に連携し、宮古島のみならず沖縄全体の発展のために様々な取組を進めて参ります。



# 平良港漲水地区 複合一貫輸送ターミナル 暫定供用

# 特集

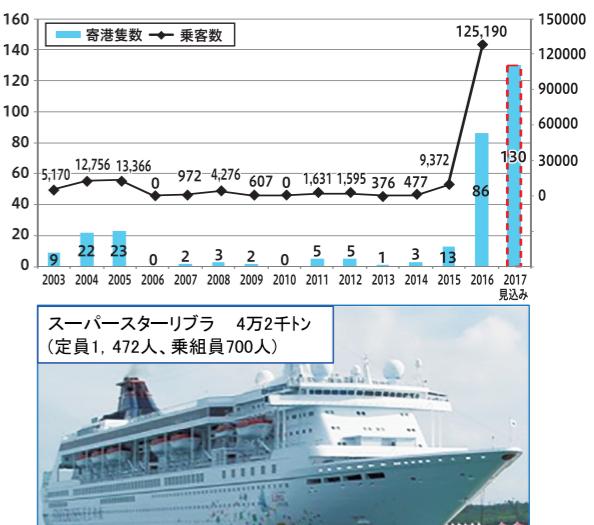
平良港は、離島圏宮古の生活・産業の生命線たる海上輸送の拠点港湾として重要な役割を担っています。しかしながら、埠頭用地の狭隘化や耐震岸壁の未整備など、物資の安定供給や旅客の安全性に問題を抱えています。これらを解決すべく、平成24年度より「平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル改良事業」を行っています。

この中で整備を進めている岸壁440mのうち、昨年12月16日に南側の295mの暫定供用が開始され、記念式典が開催されました。式典では山下沖縄担当大臣政務官、高橋国土交通大臣政務官より、今回の暫定供用により、船舶の大型化への対応や安全かつ安定した岸壁機能が確保されることとなり、宮古島地域は更に発展するもとの期待される、ご挨拶あり、関係者によるテープカット式典が行われました。



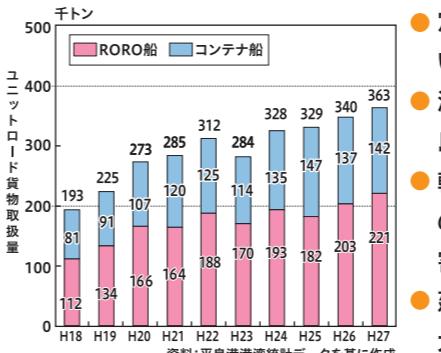
## ◆◆ 富古地域及び平良港の現状 ◆◆

宮古地域は沖縄本島から南西に約300km、東京から約1800kmに位置し、大小8つの有人島で構成され、宮古島はその地域経済の中心となっています。宮古地域の物流拠点である平良港は沖縄本島（那覇港経由・鹿児島）や石垣島に加え、台湾・中国との間に定期航路が就航しており、島民の生活物資の受入れや周辺離島である多良間島への貨物の積み替え拠点として重要な役割を担っています。また右のグラフを見るとわかるように、近年はクルーズ船の寄港も急増しています。しかしながら、前述の通り、平良港は埠頭用地が狭隘なため非効率かつ危険な荷役作業を強いられており、また耐震岸壁が未整備であるなど、物資の安定供給や旅客の安全性に問題を抱えているため、平成24年度より「平良港張水地区複合一貫輸送ターミナル改良事業」に着手したところです。



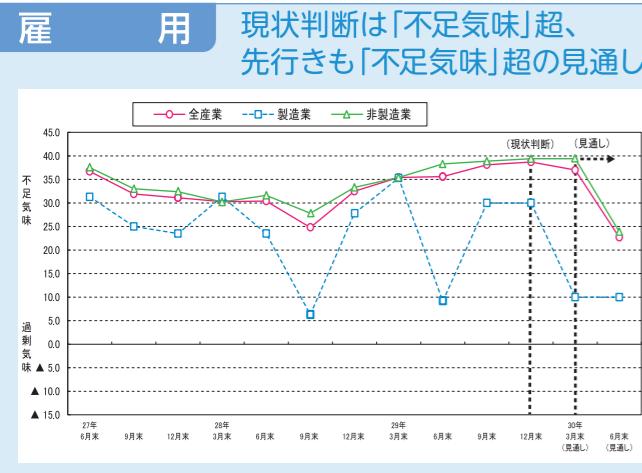
## ◆◆◆ 平良港における課題 ◆◆◆

貨物の取扱量や、クルーズ船の寄港数が近年増加している平良港ですが、以下のような課題があります。



- 定期RORO船の大型化に伴い水域が狭隘化している上に、岸壁が北東風の影響を受けやすい形状となっており、その結果、岸壁への接触事故、抜港及び遅延等が発生しています。
  - 沖縄県内において沖縄本島、石垣島、宮古島の中で耐震強化岸壁が未整備であるのが宮古島のみであり、被災時には島民生活に甚大な影響を与えることが危惧されています。
  - 輸送形態の変化(シャーシ、トラック比率の増加)により、荷捌き地が不足しており、荷役作業の効率および安全性が低下、また貨物、シャーシなどが埠頭用地内から溢れ、通過交通を阻害するなどの問題が発生しています。
  - 建設後30年以上が経過し、施設の老朽化が著しく、ひび割れや、防砂シートの破損等による大規模な陥没の危険性が高まっており、荷役作業の安全性に不安がある状況にあります。
  - 埠頭用地が狭隘であるため、コンテナ貨物の増大に伴い荷役効率が低下しており、他港に比べて過度な荷役時間を要しています。更に、40FTコンテナの取り回しができないため、定期コンテナ航路(那覇～平良～石垣(～台湾))全体の物流効率化を進めるにあたり、平良港がボトルネックとなっています。
  - 背後ヤードが狭隘であるため、ヤード外までコンテナ貨物の横持ち輸送を行うなど、非効率な輸送体系を強いられている状況にあります。
  - 平良港において寄港需要が高まっている外航クルーズ船への対応が求められています。

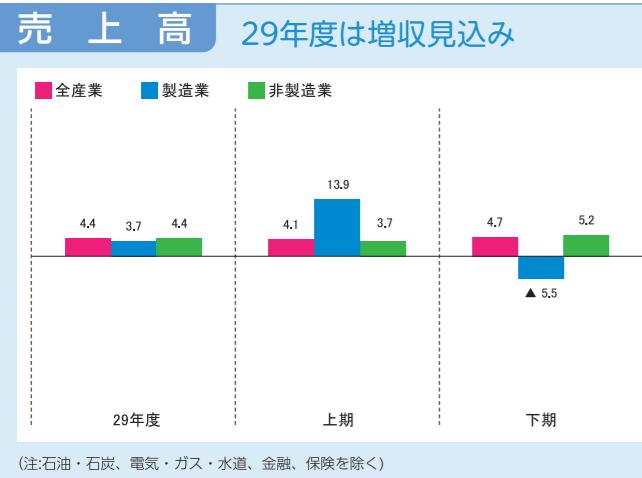




従業員数判断BSI(原数值) (期末判断「不足気味」-「過剰気味」社数構成比) (単位: %ポイント)

	29年9月末 前回調査	29年12月末 現状判断	30年3月末 見通し	30年6月末 見通し
全産業	38.1 (31.4)	38.7 (32.2)	37.0 (32.2)	22.7
製造業	30.0 (20.0)	30.0 (30.0)	10.0 (30.0)	10.0
非製造業	38.9 (32.4)	39.4 (32.4)	39.4 (32.4)	23.9
建設業	59.1 (54.5)	57.1 (40.9)	57.1 (40.9)	28.6
情報通信業	25.0 (25.0)	37.5 (12.5)	37.5 (12.5)	25.0
運輸業、郵便業	45.5 (36.4)	27.3 (36.4)	36.4 (36.4)	27.3
卸売業、小売業	52.6 (31.6)	52.6 (36.8)	52.6 (36.8)	36.8
サービス業	33.3 (26.7)	41.2 (26.7)	35.3 (26.7)	17.6
規模別				
大企業	14.3 (14.3)	19.0 (19.0)	19.0 (19.0)	9.5
中堅企業	50.0 (41.7)	56.0 (41.7)	48.0 (41.7)	36.0
中小企業	41.1 (32.9)	38.4 (32.9)	38.4 (32.9)	21.9

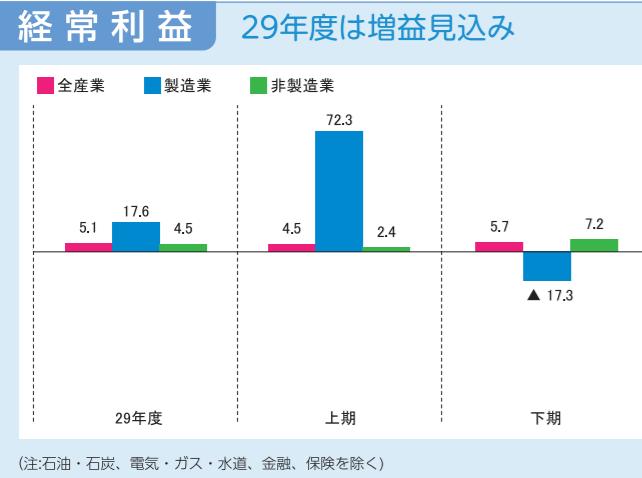
(注) ( )書きは前回調査(29年7~9月期)時の見通し



(前年同期比増減率%)

	29年度		上期	下期
全産業	(3.4)	4.4	4.1	4.7
製造業	(0.9)	3.7	3.7	13.9
非製造業	(3.6)	4.4	3.7	5.2
建設業	(6.1)	4.1	5.4	32
情報通信業	(0.9)	1.7	1.4	2.0
運輸業、郵便業	(1.7)	3.3	2.8	38
卸売業、小売業	(4.4)	5.9	4.3	7.5
サービス業	(▲1.1)	▲1.4	▲1.3	▲1.6
(参考)全規模・全業種(金融業、保険業は調査対象外)				
	29年度		上期	下期
全産業	(4.0)	5.2	5.3	5.1
製造業	-	-	-	-
非製造業	-	-	-	-

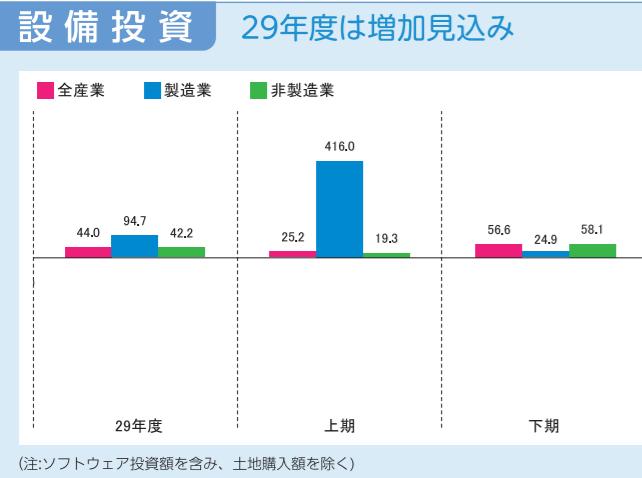
(注)1.( )書きは前回調査(29年7~9月期)結果  
2.-はデータ秘匿の観点から非公表



(前年同期比増減率%)

	29年度		上期	下期
全産業	(2.3)	5.1	4.5	5.7
製造業	(3.1)	17.6	72.3	▲17.3
非製造業	(2.2)	4.5	2.4	7.2
建設業	(▲20.9)	▲22.6	50.9	▲36.0
情報通信業	(5.9)	12.7	▲1.7	32.8
運輸業、郵便業	(10.9)	18.4	25.4	8.2
卸売業、小売業	(0.5)	▲0.9	▲6.0	4.4
サービス業	(19.8)	▲3.4	▲6.8	36.4
(参考)全規模・全業種				
	29年度		上期	下期
全産業	(0.6)	4.1	5.4	1.7
製造業	-	-	-	-
非製造業	-	-	-	-

(注)1.( )書きは前回調査(29年7~9月期)結果  
2.-はデータ秘匿の観点から非公表



(前年同期比増減率%)

	29年度		上期	下期
全産業	(45.6)	44.0	25.2	56.6
製造業	(58.4)	55.8	54.6	56.6
非製造業	(116.2)	94.7	416.0	24.9
建設業	(43.1)	42.2	19.3	58.1
情報通信業	(11.7)	7.0	▲31.9	46.7
運輸業、郵便業	(▲1.9)	10.2	93.5	▲36.5
卸売業、小売業	(192.7)	192.2	154.8	221.4
サービス業	(33.3)	43.3	69.3	▲2.4
(参考)ソフトウェア投資額及び土地購入額を除く				
	29年度		上期	下期
全産業	(46.1)	45.5	27.4	57.6
製造業	(118.9)	96.6	445.2	24.8
非製造業	(43.5)	43.7	21.2	59.2

(注)ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く

(注)1.( )書きは前回調査(29年7~9月期)結果

# 第55回 法人企業景気予測調査 (平成29年10~12月期調査)

## BSI (Business Survey Index) の計算方法

### 例「景況判断」の場合

BSI = 「上昇」と回答した企業の構成比 40.0%  
「下降」と回答した企業の構成比 30.0%  
「不明」と回答した企業の構成比 5.0%

= 10.0% ポイント

## 調査の概要

### 調査の目的

本調査は、企業活動の現状と先行き見通しに対する経営者の判断を調査し、経済・財政政策運営の基礎資料を得ることを目的として、統計法に基づく一般統計調査として年4回(2、5、8、11月)実施。

### 調査の時点

平成29年11月15日

### 調査対象期間

判断項目: 29年10~12月期及び12月末見込み

30年1~3月期及び3月末見通し

30年4~6月期及び6月末見通し

計数項目: 29年度上期実績

29年度下期実績見込み

## 調査対象企業の範囲

沖縄県内に所在する資本金、出資金又は基金(以下、「資本金」という。)1千万円以上(電気・ガス・水道業及び金融業、保険業は資本金1億円以上)の法人

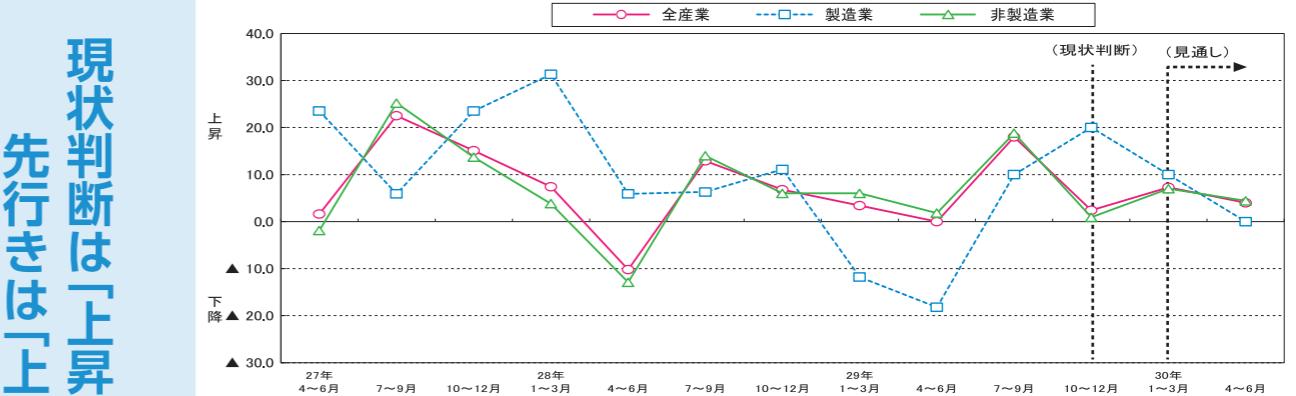
調査対象企業数及び回収状況は次のとおりである。

対象企業数: 130社 回答企業数: 124社 回収率: 95.4% (単位: 社)

	対象企業数	回答企業数	回収率 (%)
全産業	130	124	95.4
製造業	10	10	100.0
非製造業	120	114	95.0
建設業	25	23	92.0
情報通信業	8	8	100.0
運輸業、郵便業	11	11	100.0
卸売業、小売業	21	20	95.2
サービス業	19	17	89.5
大企業(資本金10億円以上)	21	21	100.0
中堅企業(資本金1億円以上10億円未満)	26	25	96.2
中小企業(資本金1千万円以上1億円未満)	83	78	94.0

## 景況判断

### 企業の景況判断BSI(%ポイント)



### 企業の景況判断BSI(原数值)

(前期比「上昇」-「下降」社数構成比) (単位: %ポイント)

	29年7~9月 前回調査	29年10~12月 現状判断	30年1~3月 見通し	30年4~6月 見通し
全産業	18.0 (13.9)	2.4 (12.3)	7.3 (12.3)	4.0 (14.3)
製造業	10.0 (30.0)	20.0 (30.0)	10.0 (30.0)	0.0 (30.0)
食料品製造業	0.0 (66.7)	33.3 (0.0)	▲33.3 (0.0)	33.3 (0.0)
非製造業	18.8 (12.5)	0.9 (10.7)	7.0 (10.7)	4.4 (10.7)





# 13 空心『2017日米亞医療機器イノベーションフォーラム沖縄』を開催しました

世界の医療機器市場は2019年に約50兆円に到達することが見込まれていますが、日本では約8千億円の輸入超過となり、我が国が得意とするものづくり技術が十分に活かされていない課題があります。その一方で、米国ではIPOやM&Aによる資本循環、いわゆるエコシステムにより、魅力的な医療機器を開発するベンチャー企業を育成する仕組みが確立しています。

この状況を踏まえ、日米に加え、医療機器事業者が集積する台湾との広域連携を推進し、アジアとの地理的近接性や、税制優遇などの投資環境を十分に活かすことで、沖縄を拠点としたアジア市場開拓が期待できます。そこで、当局、沖縄県、琉球大学、万国医療津梁協議会で構成する実行委員会を発足し、フォーラム及び関連イベントを開催しました。

## 空心15 公共交通事故被害者等支援フォーラム

仕事の  
SHIGOTO NO MADO  
【運輸部】

### 「公共交通事故 被害者等支援」の取組

#### フォーラム概要

公共交通の事故被害者から事故の状況や事故原因に関する情報提供および心のケアなどの支援を国としても検討して欲しいと継続的な要請があり、それを受けて国土交通省では、平成24年4月に「公共交通事故被害者等支援室」を設置しました。沖縄においては、沖縄総合事務局運輸企画室が本業務を行っています。

事故が発生した場合の主な業務としては、公共交通事業による被害者やそのご家族に対して、生活支援・経済支援・心身のケアなどの様々な相談窓口として対応し、関係機関などのご案内を中長期にわたり行っています。

平時においては、公共交通事業者に対して、被害者への情報提供窓口や相談受付体制などについて定めた「被害者等支援計画」の策定、被害者やご家族に寄り添った対応についての周知活動を行っています。

①公共交通事故被害者等支援室の体制

```

    graph TD
        A[総合政策局・安心生活政策課  
課長(室長)] --- B[公共交通事故被害者支援企画官]
        B --- C[課長補佐以下4名]
        C --- D[鉄道局(4名)]
        C --- E[海事局(4名)]
        C --- F[運輸安全委員会事務局(3名)]
        C --- G[地方運輸局等(35名)]
        D --- H[自動車局(4名)]
        E --- I[航空局(4名)]
        F --- J[自動車局(4名)]
        G --- K[航空局(4名)]
    
```

計 支援室員 60名  
本省において窓口を設置

②公共交通事故被害者支援の業務

```

    graph TD
        A[事故発生直後の対応]
        B[事故発生後、中長期的対応]
        C[平時における対応]
        A --- D[○事故被害者の搬送先病院等において支援活動、相談窓口の周知活動(コンタクトカード、チラシ配布)を実施]
        A --- E[○常設の窓口のほか、必要に応じ事故現場の近くなどに相談窓口を設けて被害者等からの相談・要望に対応]
        B --- F[○窓口における被害者等からの生活支援・経済支援・心身のケア等に関する相談への対応及びコーディネート]
        B --- G[○事故調査、安全対策等に係る被害者等への説明会の開催]
        C --- H[○支援員に対する教育訓練の実施(被害者等支援に係る研修の実施・受講等)]
        C --- I[○公共交通事故被害者等支援フォーラムの開催]
        C --- J[○交通事業者による被害者等支援計画の策定促進]
        C --- K[○公共交通事故被害者等支援懇談会の開催、関係機関等とのネットワーク構築(警察、消防、医療機関、地方公共団体、日本赤十字社、被害者団体、「心のケア」専門家、犯罪被害者支援関係NPO等)など]
    
```



フォーラムの様子

日米及び台湾の医療機関や医療機器事業者、ものづくり企業など、約200人が参加しました。

また、PITCH(11月9日、於：カフリゾート)では、日米及び台湾の潜在的な医療機器開発技術や製品アイデアを26団体が発表し、約100人の参加者と活発な意見交換を行い、大いに盛り上がりました。

今後は、日米及び台湾と広域連携を深化させ、ビジネスモデル構築などにより、沖縄を医療機器開発の拠点化に向けた取組を推進します。

# 14 空心『11月6~9日開催の教習結果』

自動車検査員を「存じでしようか。車を持っている方は、2年に1回車検を受けています」といいます。県内にある車の約75%が、国が指定した民間の整備工場でこの検査が行われています。そこで点検・整備した車が車検の基準に適合しているかどうかを確認する方が、自動車検査員です。県内では約1,000人の自動車検査員が働いています。

彼らは、制動力、ヘッドライトの明るさや向きなどを機器にて測定し、各種装置の機能が正常なのかなどを確認します。車検制度の一翼を担う彼らの仕事は安心安全な車社会の形成に欠かせない責任重大なものと言えます。

一定の資格(整備士免許)と実務経験がある方が、当局の教習を受講し、試験に合格すると自動車検査員になることができます。今年は105名がこの教習に挑み、新たな自動車検査員が39名誕生しました。



試験の様子

の開発・普及のように自動車の技術は発展し続け、また多様化しています。自動車検査員にはこれらの新技術への対応も求められており、その役割はますます重要になっていきます。当局は、今回誕生した自動車検査員の今後の活躍を大いに期待します。



③フォーラム参加者

# 16 バリアフリー教室 in 宮古島市

沖縄総合事務局では、高齢者、視覚障がい者、身体障がい者の疑似体験や介助体験などを通じてバリアフリーについての理解を深めてもらうとともに、ボランティアに関する意識を醸成し、誰もが高齢者、視覚障がい者などに対し「お手伝いしましょう」とごく自然に声をかけてサポートできる「心のバリアフリー」を目指し、平成13年度以降バリアフリー教室を開催しています。

今年度は、11月21日に、宮古島市でバリアフリー教室を開催しました。宮古島市は平成25年度に県内で初めて「バリアフリー基本構想」を策定し、バリアフリー化の推進に取り組んでいます。

当日は、宮古島市、NPO法人バリアフリーネットワーク会議、TOTO(株)からの協力を得て、沖縄県宮古合同庁舎で開催しました。

「誰もが安心して利用できる商店街に向けて」をテーマに、高齢者疑似体験などを交えた講演を行った後、参加者が班ごとに分かれ、障がい者、高齢者の視点から意見交換、発表などのワークショップを行いました。また、宮古総合実業高校の学生が実施しました。

今回のバリアフリー教室を終えて、参加者から「色々な障がい、老化の度合いがある、それぞれの状態の方々にフィットするような街作りが必要だと思った。」「講演での、バリアフリーの取組みを通して、新たな需要を喚起するという視点はとても重要だと思った。」「高齢者や障がいのある人の立場になつて考えたいと思った。」「観光が今後さらに拡大していくので、バリアフリーの街作りについて考えていただきたい。」などの意見をいただきました。

沖縄総合事務局としましては、今後も「バリアフリー教室」の開催を通じて、より多くのみなさまにバリアフリー化社会の実現についての理解を深めて頂くとともに、「心のバリアフリー」を積極的に推進していくたいと思います。

市街地周辺のバリアフリー状況などの点検結果についての発表を行いました。

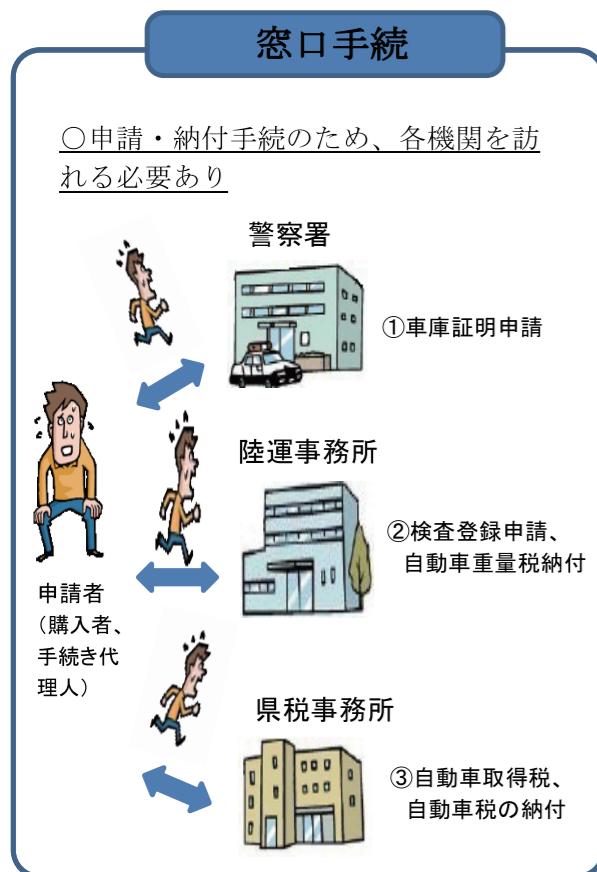
講演、ワークショップを通して、身の回りの施設や設備などが障がい者や高齢者などにも利用しやすいように整備されている事や、どういう役目をしているか学んでもらいました。

# 自動車保有関係手続のワンストップサービス(OSS)運用開始



## ～利用者利便の向上を目指して～

OSSを利用することにより、申請代行手数料や事務負担の軽減が期待され、自動車販売会社や自動車整備事業者などにおいては、業務の効率化や生産性の向上につながることになります。OSSを用いることにより、初めて申請する方の負担は大きいものだと思われますが、OSSを利用することにより利用者利便の向上が図られるものと期待するところです。さあ、あなたもチャレンジしてはいかがでしょうか。



※手続の終了後に、警察・陸運事務所において、保管場所ステッカーおよび車検証の受取が必要。  
なお、窓口手続きは従来通り可能。

# 内閣府だより

**沖** 縄県を訪れる観光客は急増しており、平成28年度の旅行客は前年比10%増の876万人となり過去最高を記録し、特に訪冲外国人旅行客は212万人（前年度比27%増）と急増しており、今後も増加が見込まれております。

一方でこれら諸外国と日本（沖縄）のマナーなどの違いにより施設側や地元住民が混乱をきたしている事例もございます。

このような状況に対処するため、受入自治体や商店などの観光施設においても店頭などにマナーの説明を掲示するなど工夫を凝らしているところですが、更なる普及啓発に向け、特に外国人観光客の多い受入施設や観光関係事業者などの事業所80カ所以上に聞き取り調査を行い、周知の要望が高い地元の商店街や飲食店やホテル、交通機関、公共施設などでトイレの使用方法、食事のマナー、商品の購入方法、ゴミの捨て方、大声で話す、白タク<sup>(※)</sup>の利用防止に関する項目について、普及啓発のためのマナー動画を作成しました。

平成29年10月8日（日）～平成30年3月末頃まで、那覇空港国際線ターミナルの入国審査場内に110インチの大型モニターを設置して、那覇港クルーズターミナル（若狭クルーズバース）においても既存のモニターを使用して、効果検証をるために、実証放映を実施しております。

（※白タクとは自家用車を使用して無許可でタクシー行為をすること）



空港入国審査場の110インチモニター



那覇港(若狭) クルーズバース内のモニター

**作** 成した動画は、食事のマナーとしてビュッフェでは取り過ぎない、公共の場所では大声で話さない、商品の買い方として清算前の商品は開封しない、ゴミ箱以外の場所にゴミを捨てない、トイレットペーパーは水と一緒に流すこと、白タク行為は違法で利用することは大変危険です。など、9項目について、1項目約30秒で、全体で4分30秒程度で周知する内容となっております。

注意ばかりだと折角沖縄に来てくれた海外の方々の気分を害して、動画を見て頂けないので、最初にマハエちゃんが沖縄の青い海や自然、歴史や文化などを紹介し、最後も沖縄の文化や日本の習慣を知って楽しい旅を、と締めくくるような構成となっております。



## 訪日外国人旅行者向け マナー動画の作成

## 次世代を担う高校生が話し合う！ ～『世界津波の日』2017高校生島サミット in 沖縄～

平成29年11月7日から8日にかけて、津波被害の歴史を持つ沖縄で、次世代を担う国内・国外の高校生を招き、防災分野で活躍する将来のリーダーの育成を図ることを目的に、『世界津波の日』2017高校生島サミットin沖縄が開催されました。

江崎大臣はサミットの開会式に出席し、参加高校生の皆さんが沖縄の自然や文化に触れ、地元の高校生との交流を深めるとともに、将来防災のリーダーとして国内外で活躍されることを期待している旨、挨拶をしました。



開会式で挨拶をする江崎大臣



参加高校生を激励する江崎大臣



全体集合写真

## あかま副大臣の沖縄訪問

あかま内閣府副大臣は、平成29年11月27日に沖縄コンベンションセンターで開催された「沖縄大交易会2017」に合わせて、副大臣就任後初めて沖縄を訪問しました。

「沖縄大交易会2017」では、オープニングセレモニーで来賓として祝辞を述べた後、国内のサプライヤーと国内外のバイヤーが多数参加する個別商談会の模様を視察しました。

また、国立戦没者墓苑への参拝・献花や、沖縄科学技術大学院大学(OIST)、那覇空港第2滑走路建設地等の視察を行いました。



「沖縄大交易会2017」でテープカットをするあかま副大臣（右から2番目）

## 山下政務官の沖縄訪問

山下内閣府大臣政務官は、平成29年12月25日に北部訓練場返還地の引渡式典に出席しました。

この式典は、平成28年12月に返還された北部訓練場の過半約4,000ヘクタールについて、返還後の支障除去が終り、所有者の皆さまへ土地が引き渡されることになったことから開催されたものです。

また、国立戦没者墓苑への参拝・献花や、平和の礎、那覇空港第2滑走路建設地等の視察を行いました。



北部訓練場返還地引渡記念祝賀会で挨拶をする山下政務官



# 平成29年度 国有財産一般競争入札（期間入札）のお知らせ



- 公示日 平成29年12月14日(木)
- 受付期間 平成30年1月9日(火)午前9時～1月19日(金)午後5時まで
- 開札日 平成30年2月6日(火)午前10時から

- ①個人・法人どなたでも参加できます。
- ②一般競争入札は郵送（必着）又は持参による受付となります。
- ③一般競争入札に参加するには入札金額（**最低売却価格ではない**）の5%以上の入札保証金が必要です。
- ④登記簿地目が畠となっている物件については、落札後に農業委員会等への許可もしくは届出の手続きが必要となります。

**最低売却価格以上で、かつ最高金額の入札をした方にお売りします。**

物件番号	所在地	現況地目 (登記簿地目)	面積(m <sup>2</sup> )	坪数	最低売却価格	用途地域 (建ぺい率/容積率)
2901	名護市大北一丁目3955番5	宅地 (宅地)	2,060.03m <sup>2</sup>	約624坪	93,616,000円	第一種低層 住居専用地域 (40%/80%)
		住宅建 (RC3階建)	建)170.00m <sup>2</sup> 延)447.45m <sup>2</sup>	約52坪 約136坪		
		住宅建 (RC3階建)	建)290.28m <sup>2</sup> 延)646.38m <sup>2</sup>	約88坪 約196坪		
		雑屋建 (RC1階建)	建)16.00m <sup>2</sup> 延)16.00m <sup>2</sup>	約5坪 約5坪		
2902	名護市宮里七丁目1425番2 外3筆	宅地 (宅地)	1,485.07m <sup>2</sup>	約450坪	34,000,000円	第一種中高層 住居専用地域 (60%/200%)
		住宅建 (RC2階建)	建)133.28m <sup>2</sup> 延)293.45m <sup>2</sup>	約40坪 約89坪		
		住宅建 (RC2階建)	建)133.28m <sup>2</sup> 延)293.45m <sup>2</sup>	約40坪 約89坪		
2903	欠番					
2904	豊見城市字平良大城原240番198	宅地 (宅地)	1,280.42m <sup>2</sup>	約388坪	54,900,000円	第一種低層 住居専用地域 (50%/100%)

入札に関する詳細は  
右記までお問い合わせ下さい。

**沖縄総合事務局 財務部 統括国有財産管理官**  
電話 098-866-0097 (担当:瑞慶覧・池原・東盛)  
那覇市おもろまち2丁目1番1号 那覇第2地方合同庁舎2号館10階



ホームページアドレス  
<http://www.ogb.go.jp/zaimu/007612.html>  
沖縄総合事務局 国有地

入札情報を随時発信するメールマガジンへの登録は  
<http://www.kokuyuzaisan-info.mof.go.jp/kokuyu/>  
国有地 メルマガ



一方、外国人観光客だけに習慣の違いを周知するだけではなく、飲食店やお土産品店などの受入施設側や観光協会などにもアジア圏の風習・習慣の違いを知っていただき、双方の理解を得ることが必要と思われることから、中国・台湾からの留学生と受入施設とで、ワークショップを開催し、受入側で対応すべきことや、すぐにできる改善策などを話し合って頂きました。

話し合いの中で、トイレの使用方法など、中国・台湾のトイレットペーパーは水に流れないこと、また、配水管が細く詰まりやすいことや、中華圏では、食事を余る程提供するのが、おもてなしとされ、全部食べると足りなかったとのサインになるなど、双方の違いが理解し合えたものと思います。

また、今回作成した動画につきましては、各観光協会へDVDをお配りしており、放映を希望している一部の商業施設へもDVDをお配りしております。

是非とも活用していただきたいと考えておりますので、右記のサイトより、動画がダウンロードできるようになっておりますので、自由に使用していただいて結構です。

マナー動画ホームページリンク先 (沖縄総合事務局ホームページ)  
<http://www.ogb.go.jp/unyu/index.html>  
以上のURLから下記のバナーをクリック



簡体字版

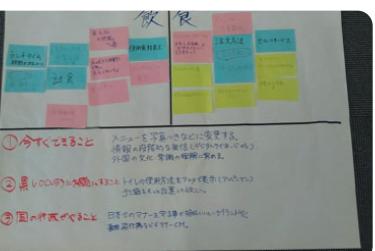
繁体字版



ワークショップの様子



トイレットペーパーの説明



各グループでの課題討議内容